

## 令和7年度 医療と地域生活をつなぐ多職種連携研修募集要項

### 1 目的

医療ニーズのある地域の生活者が、継続して必要なケアを受けることができるよう、将来的に地域で医療・介護連携のリーダーとなる人材を育成する。

### 目標

地域ケアにおいて、病院と在宅のつなぎとなる組織作りやシステム作りも視野に入れた、多職種連携で継続ケアの推進を実践することができる。

### 2 日時

(1) 実践編：7月～9月の中で5日間と見学実習1日

(2) フォローアップ編：12月に半日

※詳細はプログラムでご確認ください。

### 3 募集人員

20名程度

### 4 開催方法

(1) 対面開催・オンライン開催

※オンライン・開催の場合も、受講者以外の聴講は認められません。

(2) 施設見学実習

### 5 応募資格・応募要件

#### 【応募資格】

地域で保健・医療・福祉の仕事に携わり、多職種連携を推進する意欲のある方や、医療・介護連携の実践力を向上したい方。

#### 【応募要件】

オンライン受講が可能な方（後記6「受講条件」を満たす方）

### 6 受講条件

オンライン講義に臨むにあたり次の条件を満たすこと

(1) パソコン又はタブレット端末等の準備

オンラインで実施するため、視聴のためのパソコン又はタブレット端末が必要となります。スマートフォンでもご参加いただけますが、画面の制約から資料等を確認することが困難なことや長時間の視聴には適していないため、推奨しません。

(2) 通信環境の確保

オンラインでの実施でありインターネット通信を利用することから、光回線などの常時接続ができる定額制課金のインターネット通信を確保することを推奨します。定額制課金でない携帯電話の回線を使う場合は、データ使用量により利用料金（パケット通信料）が高額になることがありますのでご注意ください。なお、通信の安定性確保のため、有線 LAN での接続を推奨します。

(3) 受講中は、ビデオをオンにして上半身が写るようにしてください。仕事をしながらの受講や移動しながらの受講は避けてください。

(4) オンライン講義について、Zoom を活用します。事前のダウンロードをお勧めします。

## 7 会 場

### (1) 集合研修

公立大学法人神奈川県保健福祉大学 実践教育センター（横浜市旭区中尾1-5-1）



●R7年4月より二俣川看護福祉高等学校は、【二俣川高校】に校名が変わります。

### 《交通手段》

相模鉄道線「二俣川駅」下車  
徒歩約18分

バスをご利用の際は、二俣川駅北口バス乗り場①より「運転免許センター循環・二俣川駅北口ゆき」に乗り、中尾町バス停で下車してください。

### (2) 見学実習（いずれか1か所で行う）

- ・学校法人聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院〈患者支援センター〉  
(横浜市旭区矢指町1197-1)
- ・社会福祉法人聖隷福祉事業団  
聖隷横浜病院〈患者支援センター〉・せいれい訪問看護ステーション横浜  
(横浜市保土ヶ谷区岩井町215)
- ・フレアス看護小規模多機能四季の森公園  
(横浜市旭区上白根町795-2)

※受講決定後、申込フォーム内容を参考に見学実習施設を決定します。

## 8 申込方法および申込期間

### (1) 申込方法

実践教育センターホームページ教育研修「医療と地域生活をつなぐ多職種連携研修」ページに掲載の申込フォームに従って、必要事項を入力のうえお申込みください。

※センターからの返信メールが受信できる設定にしておいてください。

※申込み後、リターンメールが届いていることをご確認ください。

### (2) 申込期間

令和7年4月4日（金）8:30～令和7年5月12日（月）17:00

### (3) 受講決定

受講の可否は申込者全員に、6月上旬までにフォームメールに登録されたメールアドレス宛に通知します。その際に、受講経費の納入方法をお知らせします。なお、申込者が募集人員を超過した場合は、申込者が入力したフォームメールの内容に基づき選考します。選考基準は次のとおりとし、選考し決定します。

- ① 神奈川県内在住又は在勤者
- ② 応募動機
- ③ 先着順でフォームメールの入力内容に不備がない者

## 9 受講経費

18,000 円 (税込)

※納入された受講経費は返還いたしません。

## 10 修了証書の発行

5 日以上の研修・講座については、総時間数の 5 分の 4 以上出席した方に修了証書を交付します。(再発行は行いません)

## 11 見学実習について

- (1) 見学実習においては、見学実習施設および当センターの規定に従い行動してください。  
(「個人情報保護に関する誓約書」を見学施設に提出します。)
- (2) 研修補償制度の加入を希望する受講生には、学生傷害保 Will についてご案内します。

※詳細については受講者の見学施設決定後、「見学実習の手引き」にてお知らせします。

## 12 その他

- ・演習中は不織布マスクの使用を推奨します。(マスク着用は任意です)
- ・集合研修の講義資料は当日配付します。オンライン研修の場合は、メールから各自印刷してください。
- ・講義資料は、研修受講者の活用のみとし、コピー等や他者へ譲渡をしないでください。
- ・気象や災害、大規模な交通機関の不通等により、対面での開催を予定していた研修がオンライン形式に変更になる場合や、中止となることがあります。
- ・全体にかかる連絡事項はホームページから行います。
- ・冬季は、必要に応じて防寒の対策をお願いします。また、見学実習の際は、熱中症対策を講じてください。
- ・近くに店舗がないため、昼食はご持参ください。

### 問合せ先

医療と地域生活をつなぐ多職種連携研修 担当  
神奈川県立保健福祉大学実践教育センター  
〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1  
電話 045-366-5891 (直通)  
メールアドレス : kensyu-15.j@kuhs.ac.jp

令和7年度 医療と地域生活をつなぐ多職種連携研修プログラム

日程	時間	内容	講師	方法
7/12 (土)	9:00 ～10:30	全体オリエンテーション	実践教育センター 研修担当者 地域ケア教育部長 柴山志穂美	対面
	10:45 ～ 12:15	見学実習オリエンテーション (各団体30分)	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 聖隷横浜病院・せいれい訪問看護ステーション横浜 フレアス看護小規模多機能四季の森公園	
	13:15 ～16:00	演習① ・自職場や地域の課題抽出 ・実践計画の立案	地域ケア教育部長 柴山志穂美 実践教育センター 研修担当者	
	～16:30	まとめ	地域ケア教育部長 柴山志穂美	
7/1～8/29 のうち1日	6.5 時間	見学実習(各実習施設)	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 聖隷横浜病院・せいれい訪問看護ステーション横浜 フレアス看護小規模多機能四季の森公園	対面
7/26 (土)	9:00 ～12:15	チームビルディング	横浜国立大学教育学部 教授 有元典文 国土館大学文学部 准教授 郡司菜津美	対面
	13:15 ～14:15	チームアプローチの基本と実際	実践教育センター	
	14:30 ～16:30	演習② ・実践計画の修正	地域ケア教育部長 柴山志穂美	
8/2 (土)	9:00 ～10:30	ケアマネジメントと社会資源	北星学園大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 畑亮輔	オンライン
	10:45 ～12:15	入退院に伴う多職種連携の実際	公益社団法人 神奈川県看護協会 かがやき訪問看護ステーション 所長 原田伸子	
	13:15 ～14:15	在宅医療・介護連携の実際	医療法人社団 小磯診療所 理事長・院長 磯崎哲男	
	14:30 ～16:30	ヒューマンサービスと 地域生活の継続支援	神奈川県介護支援専門員協会理事長 医療法人社団 湘風会グループフィオーレ久里浜 居宅介護支援室 室長 諏訪部弘之	
9/5 (金)	9:00 ～12:15	地域ケアを支えるしくみ	株式会社ひとみメディカルサポーターズ こいそなんでも福祉相談室 室長 玉井秀直	オンライン
	13:15 ～16:30	地域連携とマネジメント	聖路加国際大学大学院 看護学研究科教授 看護リカレント教育部長 山田雅子	
9/20 (土)	9:00 ～ 12:15	見学実習報告会 リフレクション	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 聖隷横浜病院・せいれい訪問看護ステーション横浜 フレアス看護小規模多機能四季の森公園 地域ケア教育部長 柴山志穂美	対面
	13:15 ～16:30	演習③ ・実践計画の修正、実践発表	実践教育センター 地域ケア教育部長 柴山志穂美	
12/13 (土)	13:15 ～16:30	実践報告 (職場や地域での取り組み)	実践教育センター 地域ケア教育部長 柴山志穂美	対面